

造船業における崩壊・倒壊災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	13~14	工場内船底骨組みサブ加工場において、引っ張り工具（レバブロック1.5t）を使用して仮止め溶接した鉄板（約180kg）を引き起こしていた時、仮止め溶接が割れ、鉄板が被災者の方向に倒れかかってきて、鉄板についていた補強鉄板が左足に当たり内果部位を骨折負傷したものである。	28	1~9
2	9~10	構内において製造中の船舶に消火用のボンベ（約80kg、1900cm×20cm）の取付作業を行っていた。ボンベを、吊り上げていた移動式クレーンより外し、取付金具をつけようとした際手を離してしまいボンベと共に転倒した。ボンベが首に当たり負傷したものである。	70	1~9
5	14~15	鋼製の角パイプ（長さ1.2m×幅0.2m×0.2m、70kg）を12本製作し、立てた状態で仮置きしていた物を少しずれして並べていた時、横の角パイプが倒れて左足の甲辺りを挟んだ。	31	50~99
10	13~14	足場架設準備中、鋼製足場が倒れてきて転落。	70	1~9
12	11~12	工場内の溶接作業場で、自立する金属製鉄板部材（長さ5m×高さ50cm位）の溶接作業に従事していた。通常は、金属製鉄板部材の製品につっぱり棒を入れるか、寝かせて作業をするが、当日はそれをせず、製品を立てて作業をしていたところ、溶接で歪みが入り、動いたはずみに左足甲の上に倒れ、左足甲に打撲・骨折の怪我を負った。	56	10~29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html